

平成20年度

農村防災・災害対応指導体制強化事業

被害調査（農村防災・災害ボランティア災害時活動）報告書



調査年月日 : 平成20年7月2日(水)
調査施設 : 美原7支線第1分派(用水路)
北4号幹線水管橋
旧中小屋幹線(排水路)
施設管理者 : 篠津中央土地改良区
調査グループ : 道央グループ
調査員 : 片山 直幸、 末永 正樹
吉江 勝彦、 村上 国夫

平成20年度農村防災・災害ボランティア点検活動

大規模な災害発生直後において、施設管理者が立会できない場合を想定し、農業用施設の被災現場について被害調査を、次のとおりおこなった。

1 被災の想定

石狩川右岸、当別・新篠津地区

6月30日にかけて日雨量が300mm

農地・農業用施設に決壊、崩落等の被害が発生

2 調査箇所の選定

用水路、排水路および作工物について、それぞれ1箇所選定

被害調査報告

用水路

1 施設の概要

施設名 美原7支線第1分派

所在地 北海道石狩郡当別町

管理者 篠津中央土地改良区

2 被害の概要

被災状況

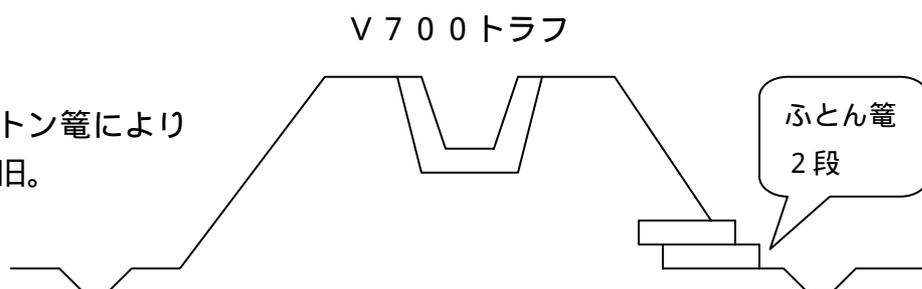


豪雨により用水路盛土部の法尻が流出、法面が崩壊し用水路が被災した。



復旧工法

盛土し直して、フトン籠により
法止めをおこない復旧。



被害額

復旧工事の完了までには相当日数を要する。水稻の生育に必要な用水を確保するため応急工事として、おき樋工を実施。

Vトラフの有材使用率は、破損状況調査から50%とした。

被害額 2,200千円

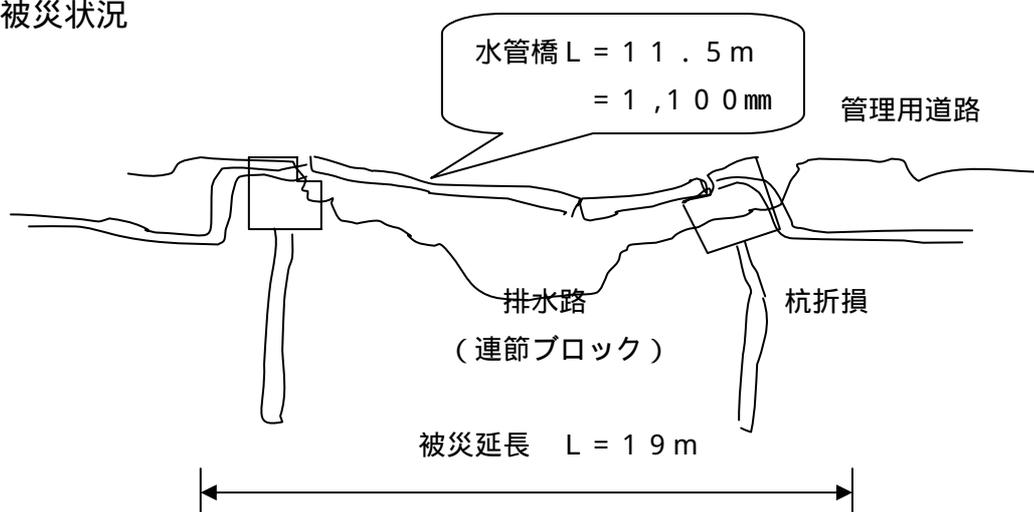
作工物

1 施設の概要

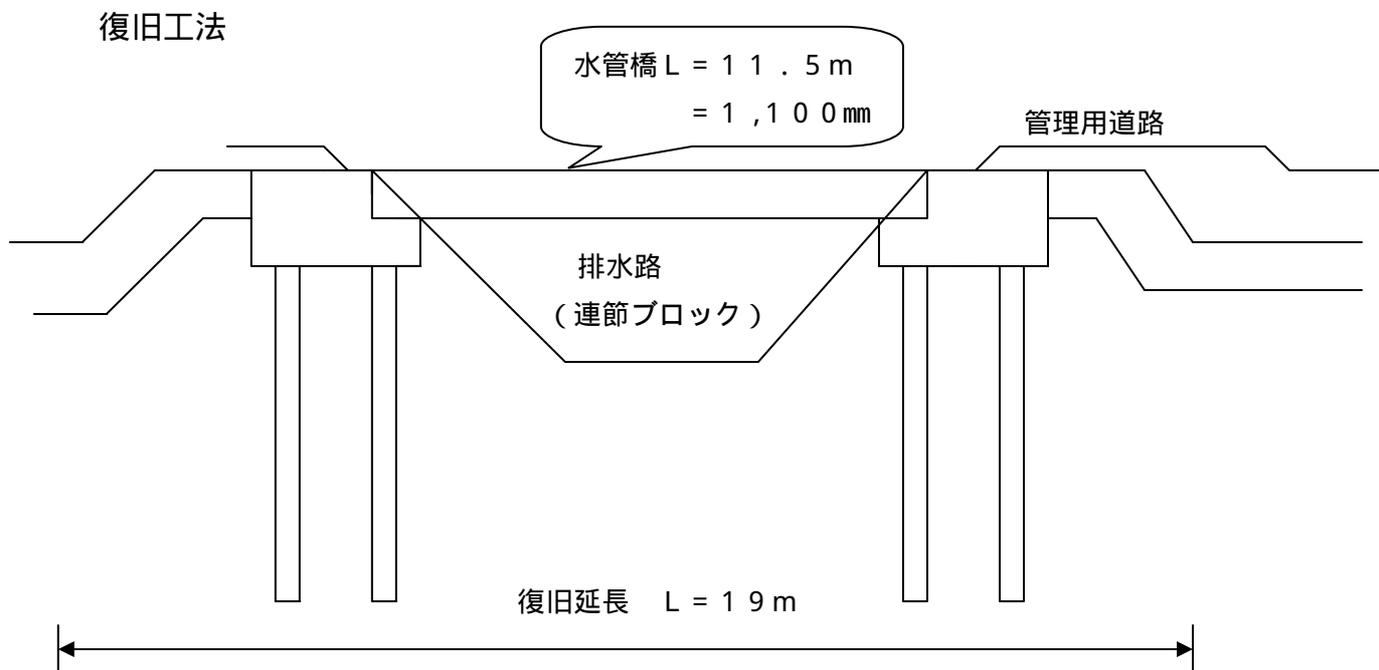
施設名 北4号幹線水管橋
所在地 北海道石狩郡当別町
管理者 篠津中央土地改良区

2 被害の概要

被災状況



豪雨による異常出水により排水路の法面が崩壊するとともに、橋台背面が洗屈され橋台（パイルベント形式）が傾倒したため、水管橋が屈折、杭も折損。



管は偏芯、ねじれが生じているため新たに工場製作。基礎杭は打ち直し、橋台を新設し復旧。

被害額

復旧工事の完了までには相当日数を要する。水稻の生育に必要な用水を確保するため応急工事として、かけ樋工を実施。

排水路連節ブロックの有材使用率は、破損状況調査から50%とした。

連節ブロックの復旧延長は、橋台部分(2.5m)および橋台の上下流端からそれぞれ10mの合計22.5m。

被害額 26,750千円

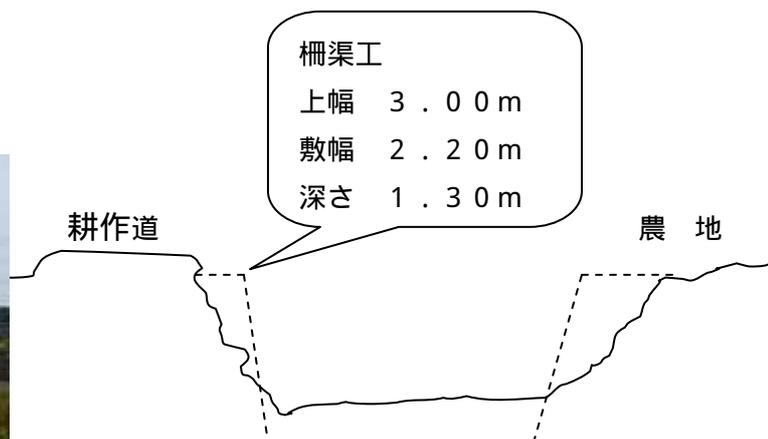
排水路

1 施設の概要

施設名 旧中小屋幹線
所在地 北海道石狩郡当別町
管理者 篠津中央土地改良区

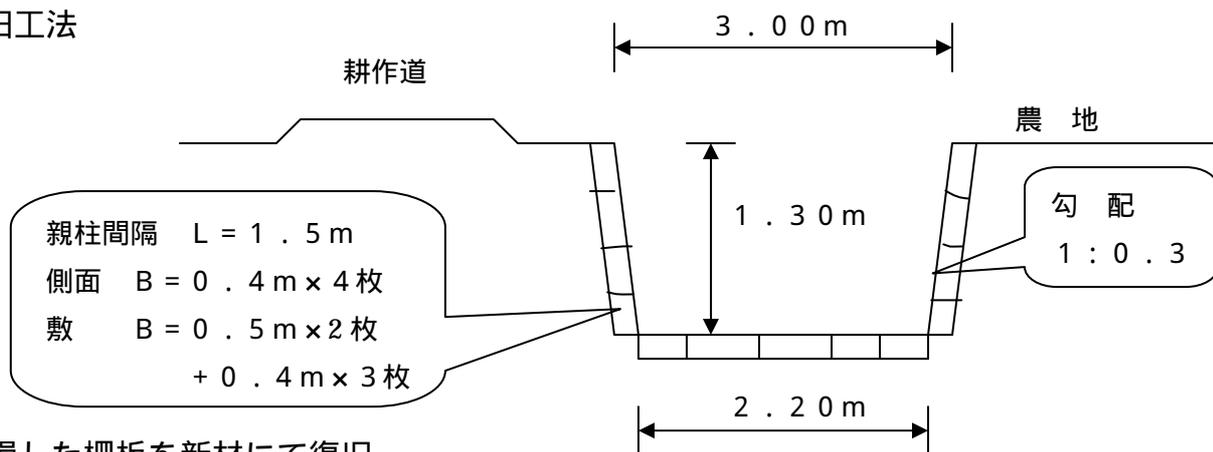
2 被害の概要

被災状況



豪雨による異常出水により、越水し柵渠排水路の背面が洗屈され柵板が倒壊・破損。被災延長 L = 100 m

復旧工法



破損した柵板を新材にて復旧。

被害額

柵板の有材使用率は、破損状況調査から50%とした。(親柱は80%再使用)

被害額 16,100千円